

平成 30 年度

天理市政アンケート調査報告書

<男女共同参画編>

平成 31 年 2 月
天理市

アンケート調査の概要

(1) 調査方法

1. 調査対象

平成30年8月1日現在で天理市内に在住する18歳以上の人3,000人
(住民基本台帳および外国人登録データから無作為抽出)

2. 実施方法

郵送による調査票の配布・回収

3. 調査期間

平成30年9月3日(月)～平成30年9月18日(火)

(2) 回収結果

| 対象者 | 有効回答数 | 回収率 |
|--------|-------|-------|
| 3,000人 | 922人 | 30.8% |

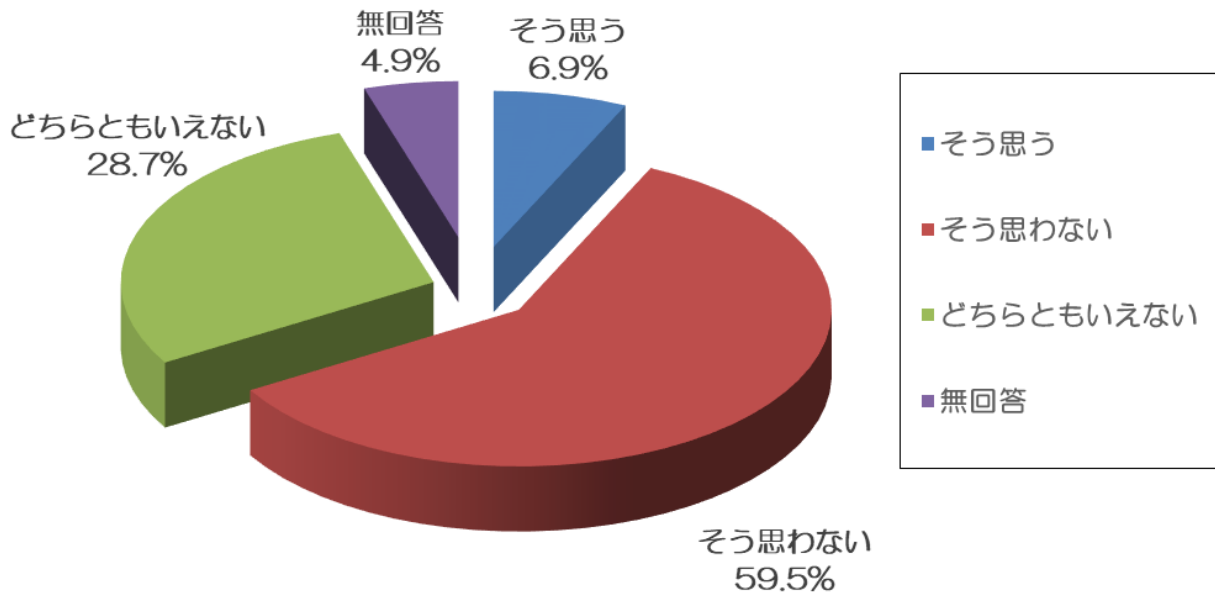
(3) 報告書の注意点

- ・百分率(%)は小数第2位を四捨五入して表示しているため、比率の合計が100%にならない場合があります。複数回答の構成比率の合計は100%になりません。
- ・一部の人を対象とする質問では、対象者数を分母にして比率を算出しています。
- ・二重回答や判読不能の回答などは、無回答に含めています。

男女共同参画意識について * * * * *

社会情勢や地域の実情に対応した男女共同参画のまちづくりを進めるために、天理市が取り組むべき課題と今後の施策の方向性を明らかにすることを目的として、問10では、男女共同参画に関する意識調査を実施しました。

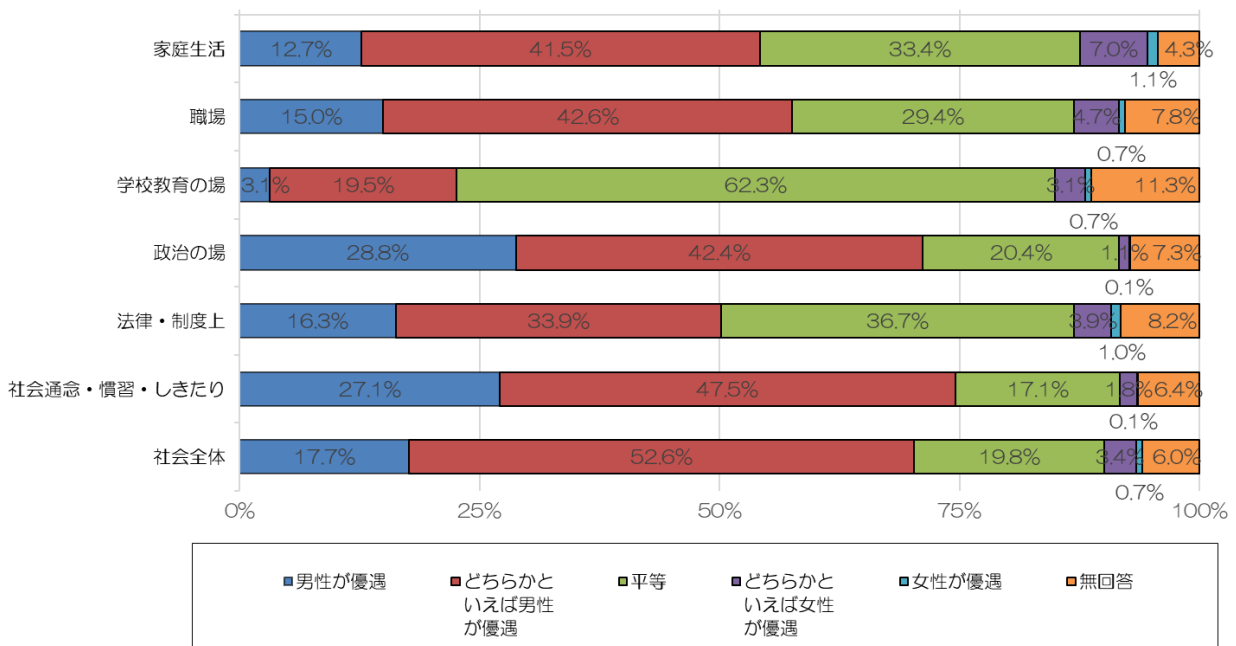
問10 - (1) 「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思われますか。



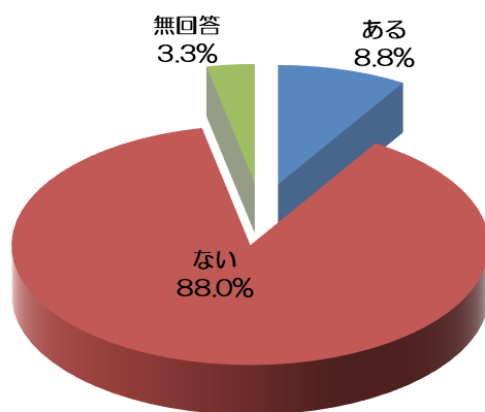
問10 - (2) 社会生活における次の場面について、男女平等であると思いますか。

7つの場面における男女の平等感について、「平等」と答えた人の割合が最も高かったのは「学校教育の場」が62.3%、続いて「法律・制度上」が36.7%でした。

全体的に「男性が優遇」「どちらかといえば男性が優遇」されていると感じている人の割合が高くなっており、中でも「政治の場」「社会通念・慣習・しきたり」「社会全体」については、全体の約7割を占めています。

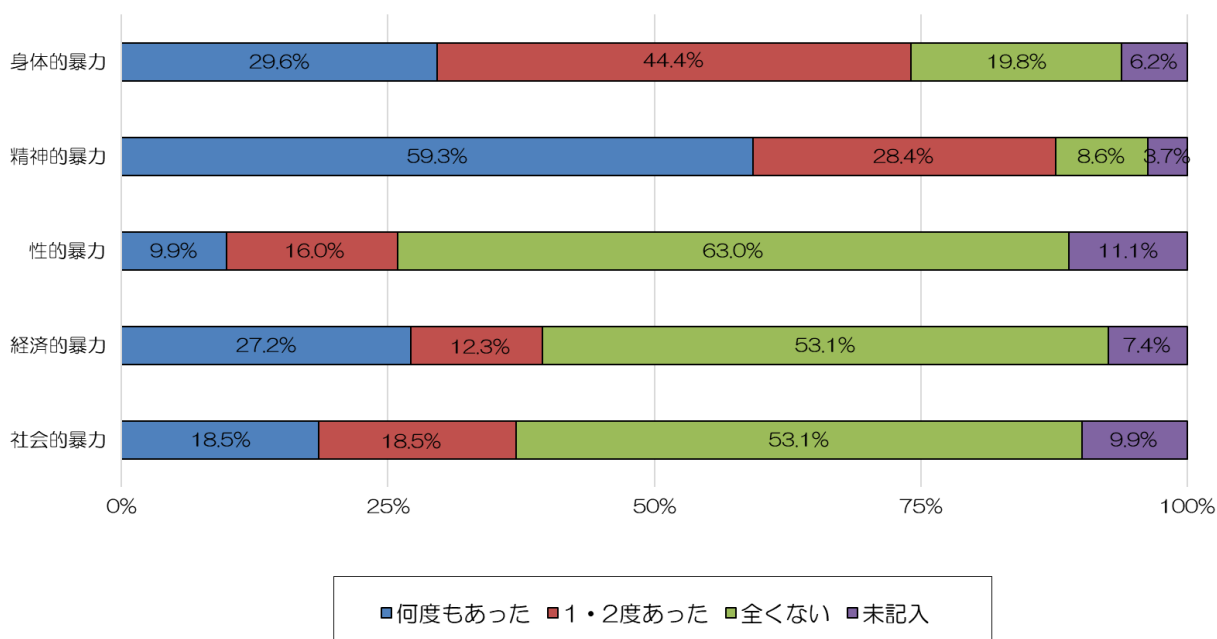


問 10 - (3) 配偶者、パートナー、恋人からドメスティック・バイオレンス（親密な関係にあるパートナーからの暴力）を受けたことがありますか。



配偶者、パートナー、恋人からドメスティック・バイオレンスを受けたことがある人の割合は、全体の約1割となっています。

暴力を受けたことがある人のうち、暴力の形態について尋ねてみると、「精神的暴力」（87.7%）が最も多く、次いで「身体的暴力」（74.0%）、「経済的暴力」（39.5%）、「社会的暴力」（39.5%）、「性的暴力」（25.9%）の順でした（暴力を受けたことがある人の割合は「何度もあった」「1・2度あった」を合わせた割合）。



※問10-(3)の選択肢は下記のように分類

- 身体的暴力：殴る、けるなど
- 精神的暴力：家族をおどす、暴言を吐くなど
- 性的暴力：性的行為を強要するなど
- 経済的暴力：生活費を渡さないなど
- 社会的暴力：交友関係の監視や規制など



問10 - (4) あなたの家庭では、次のような役割は現在どなたが主に担当されていますか。

全ての分野で女性の割合が高くなっています。特に「食事のしたく」は約7割、「食事の後かたづけ」「掃除」「家計の管理」は約6割を占めています。男性は他の分野に比べ「ゴミだし」「自治会などの地域活動」の割合が高くなっています。

